

English follows Japanese

私たちが信じていること：人間の墮落 ローマ人への手紙 5:12-14

西暦 313 年、ローマ皇帝コンスタンティヌスはミラノ勅令を発令し、それまで違法な宗派として迫害されていたキリスト教を公に合法としました。ローマ皇帝がキリスト教を認め受け入れたことから、真の信仰によるのか、単に皇帝の側につきただけかは定かではありませんが、教会は大きく成長しました。こうした成長はきちんとした弟子訓練のされない多くの改宗者を生み、教会の中では異端的な偽りの教えが育っていきました。合法化されて 100 年も経たないうちに、ペラギウスという人はその教えによって何千人ものクリスチャンを聖書の真理から引き離してしまいました。彼は原罪の重荷を負った人間はいないと教え始めました。つまり誰もが生まれながらにして罪人なのではないということです。アダムの罪は悪い手本であり、私たち皆を死ぬべき存在にはしたけれど、全ての人を墮落した罪人にしたわけではないということです。これは彼にとって、人間は自分の力で罪を犯さないことを選択する、完全な自由意思を行使する能力を持つことを意味しました。この結果、キリストに従うということは、あらゆる快樂や罪につながるものを拒絶する、極端な禁欲主義を意味するのだという教えが生まれました。つまり、キリストに在る信仰は完全に個人の選択によるもので、愛に満ちた神からの贈り物ではなかったのです。この教えの結果、バプテスマを受けないというのは、従順でないということなので罪に死ぬことを意味する等のたくさんの教えが生まれました。救いは従順であることに基づくので、救いを失う可能性もあるとされ、牧師は人々が罪を犯して神の恵みからこぼれ落ちることを恐れるよう、クリスチャンに対してさえも地獄に対する強い恐れを強調する必要がありました。もちろんこうした教えは聖書的ではなく、西暦 418 年にアフリカのカルタゴで開かれた教会会議で、彼の教えは非難されました。この動きの先頭に立ったのは、今も大きな影響を与え続けている神学者、ヒッポのアウグスティヌスでした。アウグスティヌスは、ローマ時代の北アフリカの都市ヒッポの司教でした。彼の説教と教育の働きにより、当時多くの地方教会を蝕んでいたペラギウスの教えから、原罪という教理に必要となる、救いは完全に神の恵みによるのだという神の主権の聖書的な見方に人々は引き戻されました。人間は罪を犯さずにいることができず、義に対して死んだ罪の性質を生まれながらに持っているというのが、この原罪という教理です。この真実が私たちが自分自身について、つまり人間について理解する際、全てを特徴づけるものです。今日のテーマである「私たちが信じている事：人間の墮落」というのは、つまり私たち人間は罪のために自分ではどうすることもできないほどに墮落した存在であるということです。今日の聖書箇所はローマ人への手紙 5:12-14 です。「こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——13. 実に、律法が与えられる以前にも、罪は世にあったのですが、律法がなければ罪は罪として認められないのです。14. けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。」祈りましょう。

聖書は人類の起源について明確に述べています。神が人間を造られました。最初の 2 人はアダムとエバでしたが、彼らが創造されて間もなく人間の主要な性質が明らかになりました。なぜなら最初の人間が墮落の始まりだったからです。ローマ 5:12 はこの墮落した状態の始まりについて述べています。「こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に」人間が造られた当初、人間であることの意味を完全に定義する特徴がありました。今もそれは変わっていません。その特徴とは人間が神のかたちとして造られたということです。創世記 1:27 は「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」と言っています。このことは第二ロンドン信仰告白の第六章（15 ページ）で人間と罪について述べられている中にも見ることができます。そこには「神は人間を正しく完全に創造し、また守れば生命に至らせ、破れば死の脅威がある正義の律法を与えられた」とあります。人間はその他の被造物と同じではありません。神の被造物の中で特別な存在です。これから見ていくように、罪が人間のあらゆる部分に影響を与えましたが、神の姿は私たちの内に残っています。私

たちには多くの行いの善し悪しを理解する良心があります。動物の本能的な能力をはるかに超えたコミュニケーション能力もあります。また芸術や文学、建築、音楽など多くのものを創造することが可能で、神の創造性のこくわずかですが一部を持っています。もちろん神の正しい律法を守れなかったため、最初のような完ぺきな神の似姿ではありませんが。

信仰告白の文言は、罪がどのようにしてこの世に入ってきたのかについて語っています。完全に完ぺきであり、罪はありませんでした。事実アダムとエバに与えられたルールは一つしかありませんでした。それは「善悪の知識の木」と呼ばれる木の実を食べてはいけないという命令でした。もちろん彼らはしてはならないと言われていることをやったわけですが、神から「食べてはならない」と命令を下された者として、アダムは責任を問われました。ローマ5：12に「一人の人によって罪が世界に入り」とあるように、アダムの罪は全人類に罪をもたらししました。第二ロンドン信仰告白の第六章（15ページ）には次のようにあります。「彼ら（アダムとエバ）は根源であり、また神の定めによって、全人類の代表者の位置に立っていたので、この罪のとは、通常の出生によって彼らから出るすべての子孫に転嫁され、腐敗した性質は伝えられ、主イエスが解放しないかぎり、今もなお罪の中にみごもり、生まれながらに怒りの子、罪の奴隷、死と他のあらゆる霊的、現世的、永遠的悲惨に服するものである」アダムによって私たちは2つの点で罪のある者となりました。一つ目は私たちが皆、アダムの子孫と言う点で彼と関係しているということです。つまり私たちは皆、遺伝的に「アダムの内」にあるのです。皆がアダムのDNAを持って生まれているので、彼が神の命令に背いたとき、私たちも彼に繋がる者として皆罪を犯したのです。それ以降に生まれた人は皆、罪の中に生まれ、罪に委ねられた性質を持って生まれています。このことはロンドン信仰告白の中にも示唆されていると思います。そこには「この罪のとは、通常の出生によって彼らから出るすべての子孫に転嫁され」とあります。この真理を表す神学的な用語として「生来のヘッドシップ^注」（natural headship）というものがあります。けれど、この用語はその概念ほど重要ではありません。私たちは皆、生まれながらにしてアダムに繋がっていることは明らかですが、同時に契約的な（別の言葉では同盟的な）ヘッドシップ（Covenantal Headship and Federal Headship）によってもアダムに繋がっています。再び申し上げますが、神学的な用語は重要ではありません。大事なのはアダムが私たちを代表する者として機能したということです。ロンドン信仰告白にもあるように、アダムとエバは全人類の代表者でした。アダムとエバが罪を犯したとき、彼らは私たちの代表であったので、その罪のとは私たちに転嫁され、その後永遠に私たちが負わなくてはならなくなったのです。これが私たちは皆生まれながらにして罪人であるという原罪の教義につながります。聖書がこれをどのように、またなぜ教えているのかを少し説明したいと思います。

今日学んでいる箇所は、実はローマ5：21まで続きます。この箇所でアダムとイエス・キリストが対比されていることを見ると、アダムが多くの人を代表しており、代表者の行動が多くの人に転嫁されるという理解が大切であることが分かります。私たちは生まれつきイエス・キリストとは関係がありません。けれど、イエスとアダムについて同じ議論がなされているので、私たちとアダムとの間にもDNAや生来のヘッドシップだけではない、何らかの関係があるはずで、それが「契約的なヘッドシップ」あるいは「代表者」との関係です。パウロは議論の全体像のまとめとして、ローマ人への手紙5：17-19で、聖霊を通してこう語っています。「もし一人の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら、なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人の人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するようになるのです。18.こういうわけで、ちょうど一人の違反によってすべての人が不義に定められたのと同様に、一人の義の行為によってすべての人が義と認められ、いのちを与えられます。19.すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人々が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人々が義人とされるのです。」アダムは私たちの代表であったため、彼の罪が私たちを罪の中に陥れましたが、イエス・キリストが私たちの契約的なかしら、あるいは代表者でもあるので、私たちがキリストに信仰を置くとき、キリストの義をも受けるのです。私たちはアダムとその罪にではなく、イエス・キリストの完全な死の犠牲と共にある者とされるので

す。このことは、イエスが私たちの契約的なかしらであり、代表者であることにも関わるため、イエスの処女降誕が非常に重要となる理由でもあります。もし私たちが皆、原罪をもって生まれてくるのであれば、アダムから生まれた人間が救い主になることはできません。けれど、イエスは人間の父を持たずにお生まれになったので、アダムの罪によって存在する墮落を受け継ぐことはありませんでした。処女降誕により、イエスはアダムの契約的なヘッドシップの外に生まれた者となり、私たちの救い主となるために特別な性質を与えられたわけです。アダムはキリストの代表者でも契約上のかしらでもないの、イエスはマリアによって完全に人でおられましたが、アダムの罪の性質は持っておられません。

ローマ人への手紙 5：17 に「もし一人の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら」とあるように、アダムの罪が私たち全てに罪の呪いをかけたように、死の呪いもかけられています。つまり、肉体的、霊的な死という罰が私たち全てに下されたのです。ローマ 6：23 には「罪の報酬は死です」とあります。しかし再びイエス・キリストの素晴らしい知らせは、ローマ 5：17 に「なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人の人のイエス・キリストにより、いのちにあって支配するようになるのです」とあるように、その契約的なヘッドシップの内にあります。イエス・キリストが私たちのかしらであり代表者なので、私たちはキリストにあって永遠の命の希望を持っています。アダムではなく、キリストの内にあるとき、私たちの将来は安全です。私たちの永遠は死ではなく、命の中にあるのです。

ここで終わることもできるのですが、ローマ 5：13-14 に進むと私たちの墮落についても一つの点が見えてきます。それは神の御言葉が人間の墮落を明らかにするということです。ローマ 5:13-14 は「実に、律法が与えられる以前にも、罪は世にあったのですが、律法がなければ罪は罪として認められないのです。14.けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました」と言っています。これはパウロがアダムとイエスについて述べていることから横道に逸れたようにも思えます。けれど、実際はそうではありません。パウロはアダムから受け継いだ罪が私たちの性質の一部であることを強調しているだけなのです。アダムによって死がもたらされたことは既にお話ししました。ここでモーセの名前が出てきます。モーセのもと、神は旧約聖書の最初の五書で律法について明らかにされました。創世記については途中まで説教しましたが、それに続く出エジプト記、レビ記、民数記、申命記にもとても明確に律法が語られています。これら律法の書には十戒だけではなく、ユダヤ人の伝統に基づいた 613 の戒めが記されています。これらの律法を通して、神は何が正しくて何が間違っているのかを示しておられるので、何が罪とみなされるのか分からないという言い訳は通用しません。ですが、もし罪が私たちの行いだけに基いているのであれば、アダムからモーセに至るまでに生きていた人たちはどうなるのでしょうか。律法を示されていなかったの、神があればやこれをしてはならないと示して下さっていなかったのだから、自分たちの行いは罪とはならないと主張することができるのでしょうか。パウロは、アダムからモーセまでの約 2500 年の間にも死があったことから分かるように、人は皆原罪をもっているの、そうした言い訳はできないと言っています。このように聖書はあらゆる面で人間の墮落を示しています。ローマ人への手紙の中で、パウロは書き記された神の御言葉と創造の間にある空白を埋めていますが、同時に私たちの罪を明らかにするために聖書が果たす役割も認めています。旧約聖書の律法は、律法あるいはモーセ五書において、神が求める完ぺきさを示しておられると認めているのです。そして旧約聖書の中で、人間にはその律法を守ることができないというもう一つの真実を見ることが出来ます。つまり私たちは罪人であるということです。旧約聖書ではエペソ人への手紙 2:1-2 で「さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、2.かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。」と明確に記されている真理を例えを用いて繰り返し示しています。この聖句は私たちが皆原罪を抱えていることを示すだけでなく、その罪の程度についても明らかにしています。私たちは罪の中で死んでいたのです。自分から神を選び、罪を完全に克服することはできないのです。自分で問題を解決できるとか、神のもとに向かうこと

ができるという見方は、聖書と相容れないものです。原罪と、その罪の中で私たちは死んだ存在であったという教義は、私たちがなぜ全的墮落を信じているかの理由です。私たちは完全に墮落しており、何の希望もなく、自分を救う能力もありません。ロンドン信仰告白の第六章の4（17ページ）では原罪を次のように定義しています。「我等をすべての善に対して全くやる気をなくさせ、無能にし、反対させ、またあらゆる悪にたいして行なう気を起こさせている（ローマ 8:7; コロサイ 1:21）、この根源的腐敗によってすべての実際の違反が生じる」

ここまで聖書から人間の根本的な問題である原罪を定義してきました。しかし、聖書は絶望のメッセージではありません。聖書は問題を定義すると同時に、神が解決策を与えてくださることを語っています。そして人間の墮落に対して与えられた答えは、一人の完ぺきな人です。14節は、アダムがこの完ぺきな人を指し示していると伝えることで、この偉大な真理を示しています。14節は「アダムは来たるべき方のひな型です」と結ばれています。アダムは全ての人を代表する契約的なかしらという点でキリストのひな型でした。ただ、アダムは代表として私たちを罪に陥れましたが、イエス・キリストは契約的なかしらとして永遠の命と新しい命、言い換えるなら新生をもたらしました。罪の中に死んでいた者が、イエス・キリストに在って生きる者とされるのです。コリント人への手紙第一 15:45には「こう書かれています。「最初の人アダムは生きるものとなった。」しかし、最後のアダムはいのちを与える御霊となりました。」とあります。最後のアダムとはイエス・キリストのことであり、イエスこそが私たちの罪に対する答えです。ロンドン信仰告白の第六章は、この新生についての説明で締めくくられています。「この本性の腐敗は、この世にある間、新生した者の中にも残る。それはキリストによって赦され、また克服されたが、それ自体もその最初の活動も共に、真実にまさしく罪である」私たちがイエス・キリストを主とし、救い主として受け入れたなら、私たちの罪の性質は新しくされ死にますが、多くの場合私たちはそのような生き方をしていません。クリスチャンになると原罪を解決するためにイエス・キリストが必要だと言う真理を知っていながらも、なぜか救いに与った後、自分が義であることに責任があるかのような生き方をしてしまうことが多いのではないのでしょうか。ですがお伝えしたいのは、イエスは救いの後においても私たちの契約的なかしらでおられ続けるということです。アダムによってもたらされた罪の性質が、キリストから離れては私たちの存在と人生のあらゆる面を支配するように、キリストに在って私たちは罪に打ち勝ち、義に生きるために、全て神の恵みによって生きるのです。それは私たちの内にある罪を無視することでも過小評価することでもなく、キリストの死によって罪に死んだのだと認識することです。また御子イエス・キリストを通して、主権者でおられる神の恵みによってのみ生きることです。そこでローマ5章は次のように締めくくられます。「律法が入って来たのは、違反が増し加わるためでした。しかし、罪の増し加わるところに、恵みも満ちあふれました。21.それは、罪が死によって支配したように、恵みもまた義によって支配して、私たちの主イエス・キリストにより永遠のいのちに導くためなのです。」祈りましょう。

*注 ヘッドシップ：指導，被指導の関係において，権威の根拠が被指導者の自発的支持にある（この場合をリーダーシップという）のではなく，外的にすでに決定されて存在する体系的組織そのものにある場合をさす。たとえば会社の経営者のように，組織内に一定の地位を占めているということそれ自体に権威の根拠がある場合である。このような権威の保持者を首長（ヘッド）といい，被指導者によって選ばれるのではなく，外部から任命される。（出典 ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典）

What we Believe: Human Brokenness Romans 5:12-14

In 313 AD, Constantine, the emperor of Rome issued the Edict of Milan, officially legalizing Christianity, which had been persecuted as an illegal sect up until that time. This recognition and even embracing of Christianity by the Roman Emperor led to massive growth in the church, whether through real faith or just those wanting to be on the Emperor's good side. This growth led to many conversions without real discipleship and heretical false teachings grew up in the church. Less than 100 years after gaining legal status, a man named Pelagius drew thousands of Christians away from the truth of the Bible with his teachings. He began to teach that no human had the burden of original sin. In other words, no one was born a sinner. Adam's sin gave us a poor example to follow and made us all become mortal, but did not make us all corrupt sinners. This meant to him that humans possessed the capacity to exercise their completely free will to choose not to sin in their own strength. This led to his teachings that to follow Christ meant extreme ascetic practices of denying yourself any type of pleasure or any thing that could lead to sin. So faith in Christ was fully individual choice as well and not a divine gift from a loving God. There were many other consequences of this teaching such as failure to be baptized then means you will die in sin because you failed to obey. You could lose salvation because it is based on your obedience, so pastors needed to emphasize a strong fear of hell even to Christians so they would be scared to sin and fall from God's grace.

Of course this is not Biblical, and in a church council held in Carthage, Africa in 418AD, his teachings were condemned. Leading the opposition was a key theologian for the church whose influence is still strongly felt today – Augustine of Hippo. Augustine was the Pastor of Bishop of the city of Hippo in Roman North Africa. His preaching and teaching ministry pulled the church back from the views of Pelagius that had infected many of the local churches at that time to a Biblical view of God's sovereignty as seen in salvation that is completely by his grace, made necessary by a doctrine called original sin. It is this doctrine of original sin that makes it impossible for humans not to sin and has given us from birth a sin nature that is dead to righteousness. This truth must color everything we understand about ourselves – about human beings. And so that brings us to our topic for today **What we Believe – human brokenness – that human being are broken beyond our ability to help ourselves due to sin.** Our passage we will use as our base text today is **Romans 5:12-14.**¹² **Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men^[a] because all sinned—**¹³ **for sin indeed was in the world before the law was given, but sin is not counted where there is no law.**¹⁴ **Yet death reigned from Adam to Moses, even over those whose sinning was not like the transgression of Adam, who was a type of the one who was to come.** Let's pray.

The Bible is clear about the origin of humanity. God created humans. The first two were Adam and Eve, and very soon after they were created, the primary characteristic of humans came into the picture. Because, **The first human began human brokenness.** Romans 5:12 shows the beginning of this broken condition.

¹² **Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men^[a] because all sinned—** At the beginning of humanity when humans were first created, there was one aspect of humanity that still exists and at that time fully defined what it meant to be human. That is that humans are made in God's image. **Genesis 1:27 says, So God created man in his own image, in the image of God he created him; male and female he created them.** This is recognized in the **London**

Confession Chapter 6 (page 14) when it discusses humans and sin. It says, **God created humans upright and perfect, and he gave them a righteous law that would have resulted in life if they had kept it, but threatened death if they broke it.** Humans are not the same as the animals or the rest of creation. We are unique in God's creation. Even though sin has infected every part of our being as we will see, the image of God still persists in humans. We have a conscience that still innately knows the difference between right and wrong for many actions. We have the ability to communicate in ways that go far beyond the instinctive abilities of animals. We even have a tiny bit of God's creative nature in ourselves as humans are capable of creating art, literature, architecture, music and so much more. Of course, it is not the perfect image of God that it began as, because they did not keep God's righteous law.

The statement in the confession is talking about how sin entered the world. There was complete perfection and no sin. In fact, there was only one rule that Adam and Eve were given. Do not eat the fruit from a certain tree called the Tree of Knowledge of Good and Evil. Of course, they did just that, and Adam was held responsible as the one God gave the command not to eat. His sin brought sin to all of humanity just as **Romans 5:12** says, **...sin came into the world through one man...** Why is Adam's sin carried on through all humanity? Chapter 6 (page 14) in the London Confession explains it like this. **By God's decree, Adam and Eve represented the entire human race. The guilt of their sin was imputed and their corrupted nature was passed on to all of their offspring who descend from them by normal procreation. Humans are now: conceived in sin, by nature children of wrath, servants of sin, the subjects of death, and all other miseries, spiritual, temporal, and eternal unless the Lord Jesus sets them free.** There are two ways that we are guilty of sin based on Adam. The first is that we are all related to him as his descendents. Basically, we were all genetically "in Adam." From his DNA came all of us who would ever be born and so when he sinned and failed to keep God's command, we all sinned collectively in him. Everyone born after that is now born in sin and a sin nature that is given over to sin. I believe that this is implied in the London Confession when it says **their corrupted nature was passed on to all of their offspring who descend from them by normal procreation.** There is a theological name for this truth called "natural headship". The term is not as important as the concept. While all of us our clearly joined to Adam by natural generation or headship, we are also joined to him by Covenantal (or another term is Federal) Headship. Once again, the theological term is not important. The main idea is that Adam functioned as our Representative. As the Confession says, Adam and Eve represented the entire human race. They spoke for all of us when they sinned, and their sin was then imputed or put into all of us forever afterward. This leads to the doctrine of Original Sin...we are all born sinners. I want to spend a few minutes to explain how and why the Bible teaches this.

The passage that we are studying actually runs all the way through verse 21 of Romans 5. When we see that this passage is contrasting Adam to Jesus Christ, we see the importance of this understanding of Adam representing the larger group and the actions of the representative being imputed or put into the larger group. You see, we are not related by any natural means to Jesus Christ, and yet the same argument is made regarding Jesus and Adam so there has to be another relationship of us to Adam rather than just the DNA or natural headship... That is the relationship of Covenantal Headship or Representative. As Paul draws his entire argument to a close, he says through the Holy Spirit in **Romans 5:17-19, 17 For if, because of one man's trespass, death reigned**

through that one man, much more will those who receive the abundance of grace and the free gift of righteousness reign in life through the one man Jesus Christ.

18 Therefore, as one trespass led to condemnation for all men, so one act of righteousness leads to justification and life for all men. 19 For as by the one man's disobedience the many were made sinners, so by the one man's obedience the many will be made righteous. Adam represented us and his sin plunged us all into sin, but Jesus Christ is also our Covenant Head or Representative so that when we have faith in him, we receive his righteousness. We become identified with Jesus Christ and his perfect sacrificial death rather than Adam and his sin.

This is also why the Virgin Birth of Jesus is so important, because it is related to him being our Covenant Head and Representative. If we are all born in original sin, then no man born in Adam could ever be our Savior. But, because Jesus has no human father, he did not inherit the depravity that exists through Adam's sin. The Virgin birth makes Jesus an exception to Adam's Covenantal Headship and therefore uniquely qualified to be our Savior. Adam is not Christ's Representative or Covenant Head, so that although he is still fully human through Mary, he does not have the sin nature of Adam.

Just like Adam's sin put us all under the curse of sin, it also puts us under the curse of death as Romans 5:17 says... **For if, because of one man's trespass, death reigned through that one man...** In other words, the punishment of physical and spiritual death was passed onto all of us as well. **Romans 6:23 tells us that the wages of sin is death...** But once again the great news of Jesus Christ is in His Covenantal Headship as Romans 5:17 ends... **much more will those who receive the abundance of grace and the free gift of righteousness reign in life through the one man Jesus Christ.** In Jesus Christ, we have the hope of eternal life because he is our head and our Representative. When we are found in Christ, rather than in Adam, our future is secure. Our eternity is one of life and not death!

Now we could stop there, but I think that going into verses 13 and 14 of Romans 5 shows us another witness to our brokenness. It shows us that **God's Word reveals human brokenness.** Romans 5:13-14 says, **¹³ for sin indeed was in the world before the law was given, but sin is not counted where there is no law. ¹⁴ Yet death reigned from Adam to Moses, even over those whose sinning was not like the transgression of Adam...** This is an interesting break from Paul's point he is making about Adam and Jesus. But it's not really a break. He is reinforcing the idea that sin is a part of our nature because of being imputed from Adam. We already said that through Adam came death. Now comes the mention of Moses. Under Moses, God reveals the law found in the first 5 books of the Old Testament, Genesis, which we have preached halfway through and then very clearly in Exodus, Leviticus, Numbers and Deuteronomy. In those books of the law, we find not just the 10 Commandments, but 613 commandments according to Jewish tradition. In these laws, God shows us what is right and wrong so we have no excuse to know exactly what is considered sin. But, if sin is just based on what we do, our actions alone, then what about those who lived between Adam and Moses? They did not have the law, so could they make the argument that their actions were not sin because God had not said, don't do this or that? Paul is saying they cannot say that because we all have original sin as seen in the fact that there was death during that entire period from Adam to Moses that was likely about 2500 years long. So in every aspect the Bible shows human brokenness.

Here in Romans, Paul is covering the gap between the written Word of God and creation, but also acknowledging the role that Scripture plays in showing our sin. He is recognizing that the Old Testament law shows the perfection God requires in the law or the first 5 books. And throughout the Old Testament, another truth is seen that humans have an inability to keep that law. In other words we are sinners. The Old Testament is showing by example after example the truth that is spelled out clearly in [Ephesians 2:1-2](#), [And you were dead in the trespasses and sins in which you once walked, following the course of this world, following the prince of the power of the air, the spirit that is now at work in the sons of disobedience](#)— The scripture doesn't just show that we all have original sin, but the extent of that sin. We are dead in our sins. There is no ability to choose God, to overcome those sins completely on our own. Any view of humanity that says we are capable of fixing ourselves or even reaching out to God is not compatible with the Bible. The doctrine of original sin and the extent of that sin being that we are dead in it leads to why we say we believe in Total Depravity. We are totally depraved, completely without hope, and without any ability to save ourselves. This is how the London Confession defines original sin in Chapter 6 part 4 (page)16. [Original sin—which causes us to be completely against, disabled, and hostile to all good, as well as completely inclined towards evil— is the source of all committed sin.](#)

So far we have defined from the Bible the underlying problem of humanity – original sin. But the Bible is not a message of hopelessness. The Bible defines the problem, but also shows us that God provides the solution. **And the answer to human brokenness is one perfect human.** Verse 14 points us to this great truth by telling us that Adam points to the one perfect human. Verse 14 ends... [Adam, who was a type of the one who was to come.](#) Adam was a type of Christ in that both were Covenantal Heads representing all humanity. Except, Adam's representation plunged us into sin, and Jesus Christ as the Covenantal head bring eternal life, new life...another word is regeneration. The dead in Sin become alive in Jesus Christ. [1 Corinthians 15:45 says](#) ⁴⁵ [Thus it is written, "The first man Adam became a living being";^{\[a\]} the last Adam became a life-giving spirit.](#) The last Adam is Jesus Christ, and he is the answer to our sin. The London Confession ends chapter 6 by recognizing this regeneration. [Those who are regenerated still have a corrupted nature. Although, through Christ, it is pardoned and put to death, this corrupted nature and all sinful actions that result from it are still truly and actually sin.](#) If we have accepted Jesus Christ as our Lord and Savior, our sin nature is regenerated and put to death, although many times we don't live that way. So many times as Christians, while we know the truth that we need Jesus Christ as the solution for original sin, for some reason we live like we are then responsible for our own righteousness after salvation. But what I want to leave us with is that Jesus does not cease to be our Covenant Head after salvation. Just as our sin nature we received from Adam controls every aspect of our existence and destiny apart from Christ, in Christ, we live completely by his grace in order to overcome sin and live to righteousness. It is not ignoring the sin in our lives or minimizing it, but recognizing that it is put to death by the death of Christ. It is living solely by the grace of our Sovereign God offered to us through God the Son, Jesus Christ. So, this passage in Romans 5 ends starting in verse [20-21, where sin increased, grace abounded all the more,](#) ²¹ [so that, as sin reigned in death, grace also might reign through righteousness leading to eternal life through Jesus Christ our Lord.](#) Let's pray.